

眼鏡の娘 MAGAZINE

ガンキョウマガジン



暗視装置・照準装置
解説本

Eotech/553A651

PVS-14(F6015)

1PN34(NSPU2)

M3 Sniper Scope

...AND MORE!

GROUP NUMBER

1

READ THIS
FOR LOW-LIGHT
RESOLUTION FOR
AN/PVS-7D

ELEMENT NUMBERS

READ THIS
FOR LOW-LIGHT
RESOLUTION
FOR AN/PVS-7B

READ THIS
FOR HIGH-LIGHT
RESOLUTION
FOR AN/PVS-7D

READ THIS
FOR HIGH-LIGHT
RESOLUTION FOR

眼鏡の娘 MAGAZINE

この模様は、米軍用暗視装置PVS-7のオペレーターマニュアルに記載されている、暗視装置の簡易解像度判定表を、高解像度で作直したものです。このパターンが増幅管の視界いっぱいに広がる距離でピントを合わせ、指示された条件でパターンをしてみる事で大まかな増幅管の解像度をチェックすることが出来るようになっています。お手持ちの暗視装置で試してみよう！





はじめに

初めましてorお世話になってます、EXCELです。今回また懲りずにニッ千な本になってしまって申し訳ありません。今回は正直いってかなりマニア向けの本です。漫画も少なく、むしろ写真が多い本となっています。

今回はどちらかというと同業者の方というか、漫画や小説で暗視装置を描（書）いてみたいという方に向けて作ったつもりです。極力ディテールを写すようにして、作画資料に使える眼鏡本を目指しました。暗視装置はその性質上、非常に高額で入手も難しい物が多く、あまり一般的に手に取る事はないかと思えます。実は専門書もほとんど出ていません。

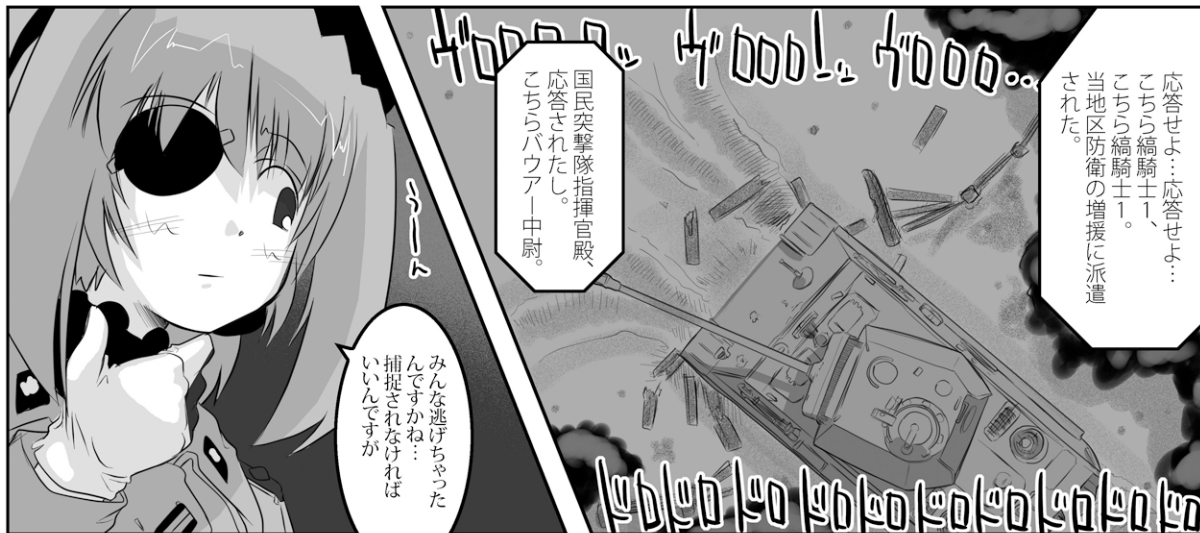
EXCEL.

また、今回は実物サンプルの写真を提供して頂いたしろーさん、I氏、そして素晴らしいゲスト原稿をくださった七六さん、石口十さん、本当にありがとうございました。おかげさまで、非常にダメな（誉め言葉）本になったと思います。かなり隙間な本なのですが、楽しんで頂ければ幸いです。

1945年5月

ベルリン郊外。

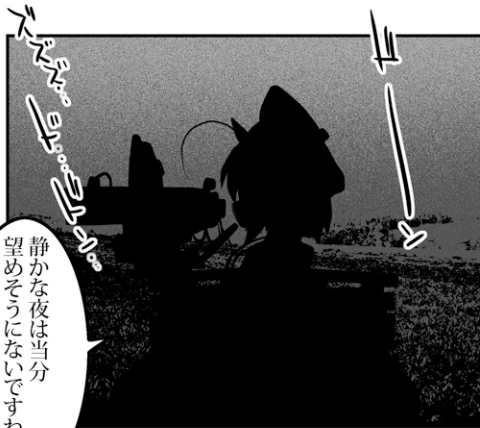
ドイツ国防軍は自国領土を地獄そのものへと変貌させながら、絶望的な防衛戦闘を繰り広げていた。



※ウーファー(ワジミミズク)：
中型装甲兵員車Infra-rotscheinwerfer(インフラロートシャインヴェルファアー、赤外線探照灯)。ドイツ軍のSd.kfz251/20に60cm赤外線サーチライトを搭載した、夜間戦用パンターの指揮/支援車輛。パンター用に装備された赤外線暗視装置のサーチライトは直径の小さなもので、最大でも600m程度の認識距離しかなかった事に対し、ウーファーのサーチライトは1500mに達する投光距離を誇る。パウアーが「至近距離戦闘になる」と述べているのは、暗視装置の性能から砲戦距離が短くなることを指している。



静かな夜は当分
望めそうにないですね…



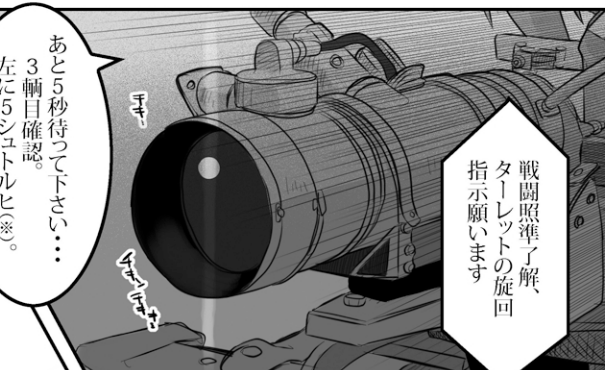
きました！

エンジン音からおそらく
T34が…中隊規模この距離
だとそれ以上は不明です
距離500、戦闘照準、徹甲弾
を装填して下さい



狙われてる気がする…
こころへん、待ち伏せ地点に
もってこいだな…

あと5秒待つて下さい…
3輦目確認。
左に5シユトルビ(※)。



戦闘照準了解、
ターゲットの旋回
指示願います

※シユトルビ=1000m先の1mの物体の横幅と等しい角度単位。



射撃準備完了

よし、撃て。



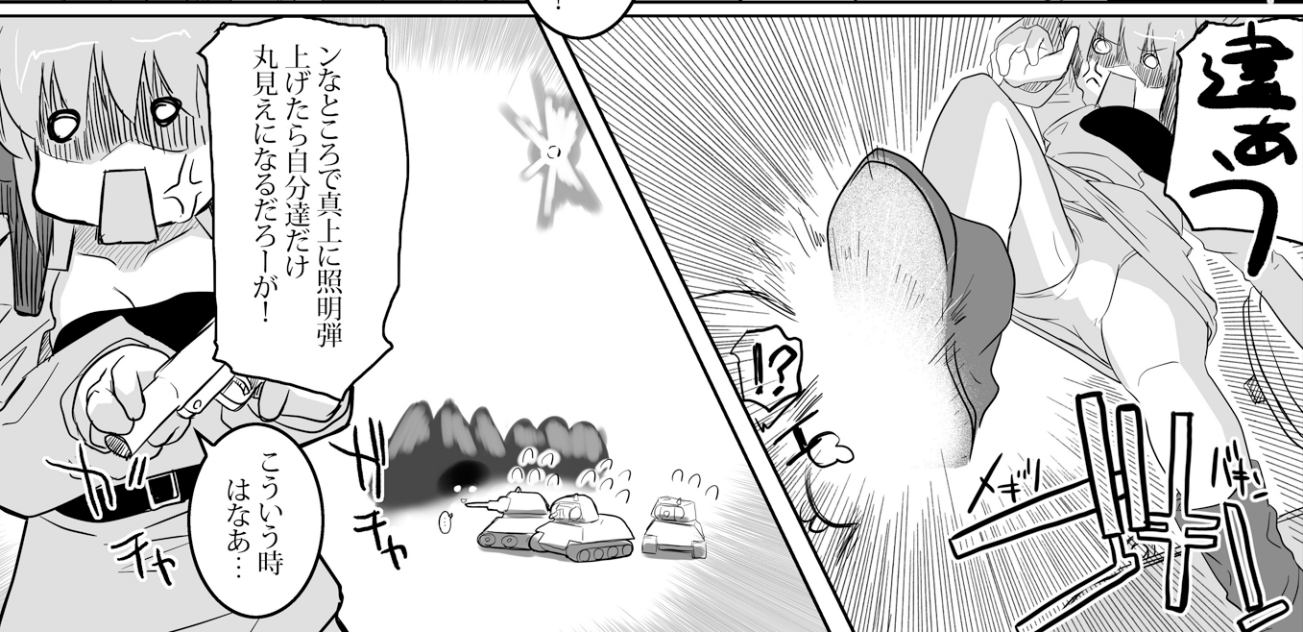
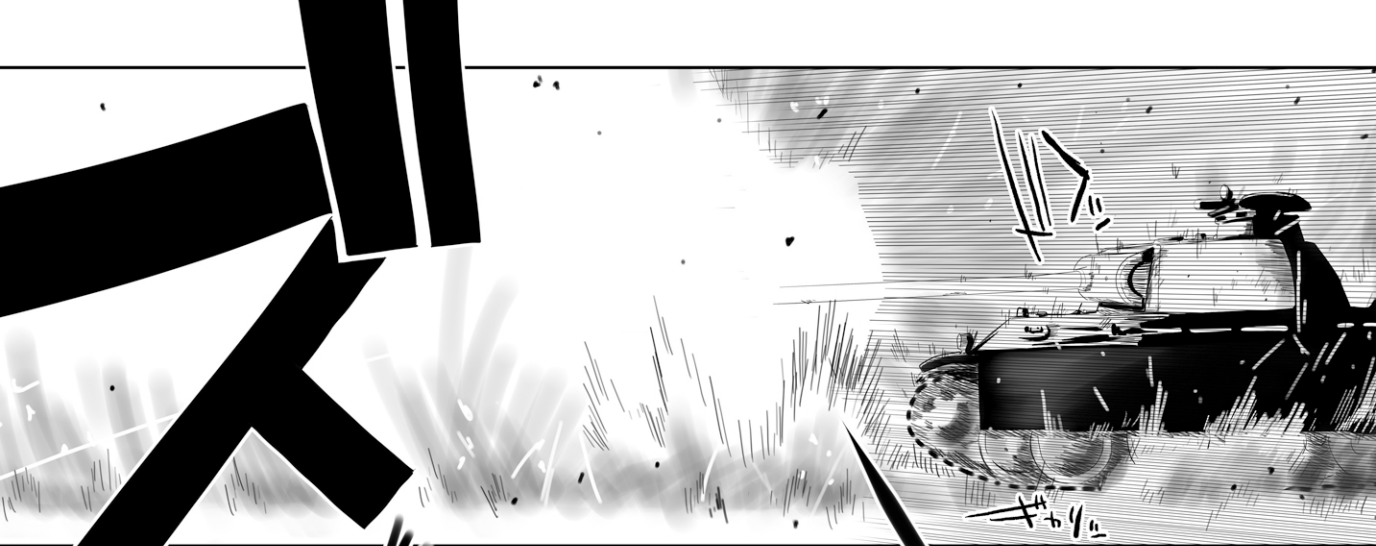
イワン、ハッチとか
全部開けておけ

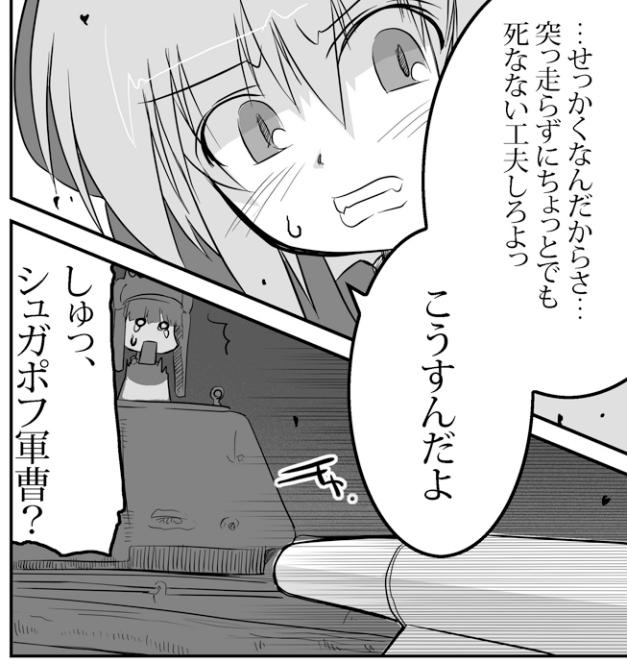
シユガポフ軍曹…
狙撃されますよ？



夜だします撃たれ
ないと思う

それより待ち伏せの方が
ありそうだ…
ここまで生き延びたのに
ベルリン早く落とすとか
余計な事考えんなよ。



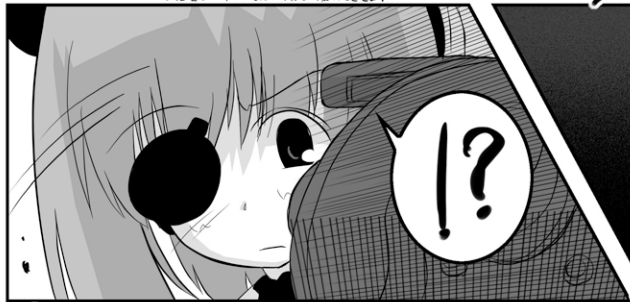


…せっかくなんだからさ…
突っ走らずにちよつとでも
死なない工夫しろよっ

こうすんだよ

しゅつ、
シュガポフ軍曹？

こんな花畑で、ルアークを走らせろは、この生活と区別が…



シューッ
シューッ
シューッ

イワン、
曳光弾の跳弾に照準！

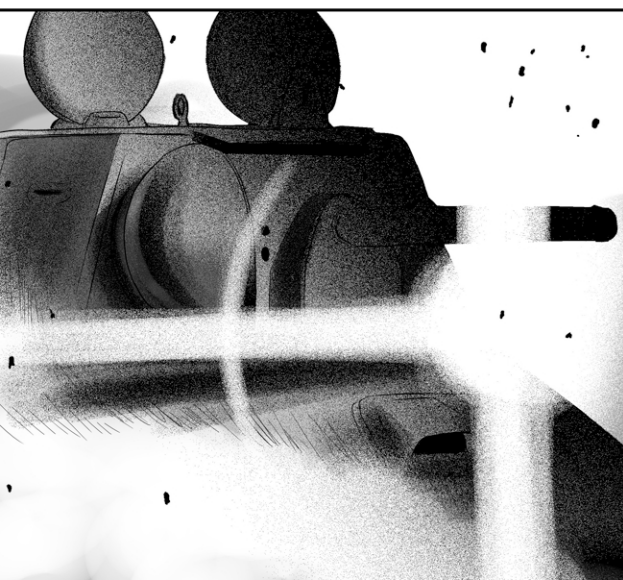
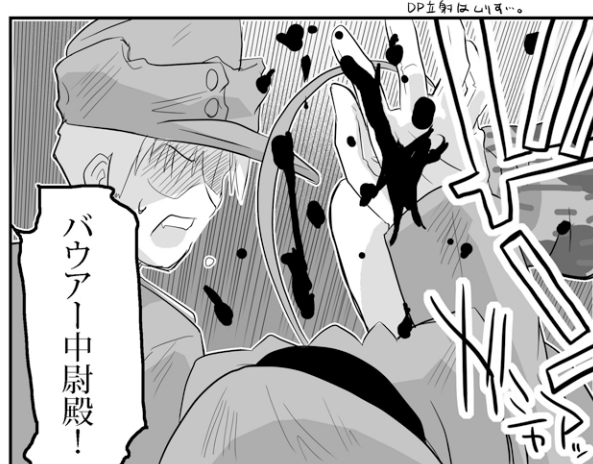


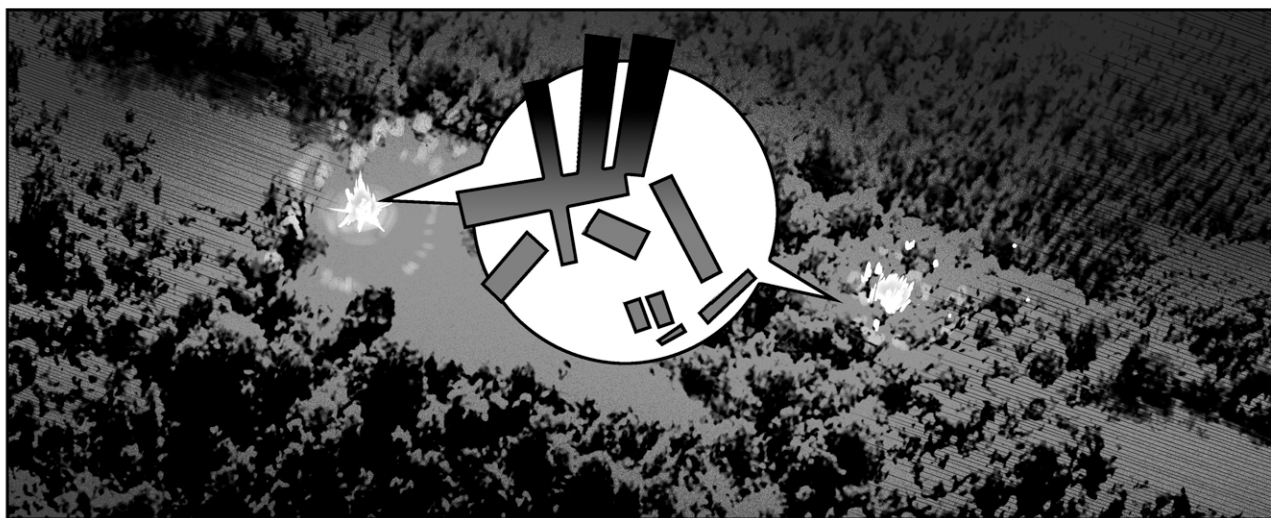
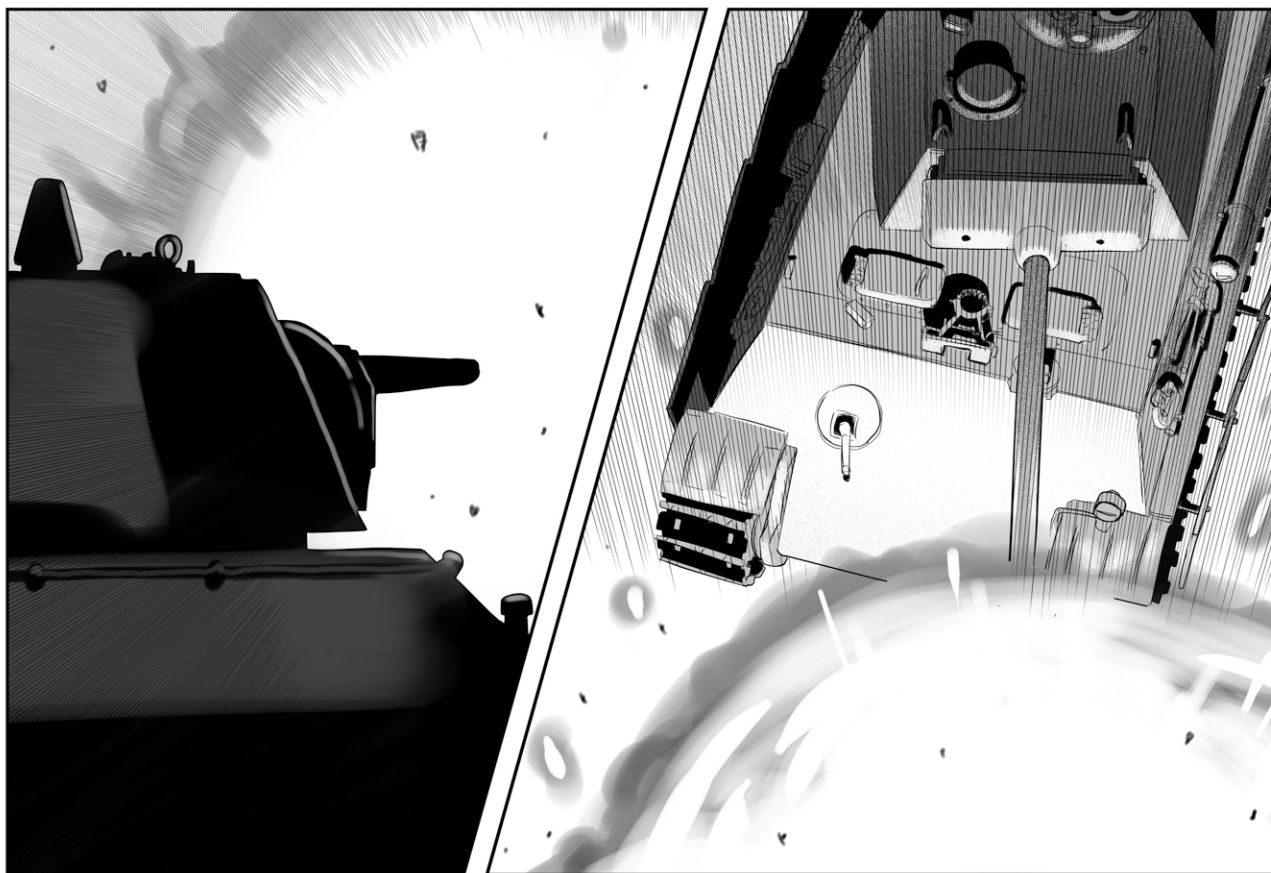
よこせ

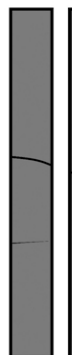
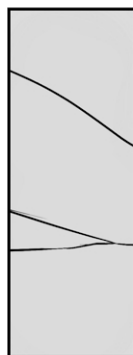
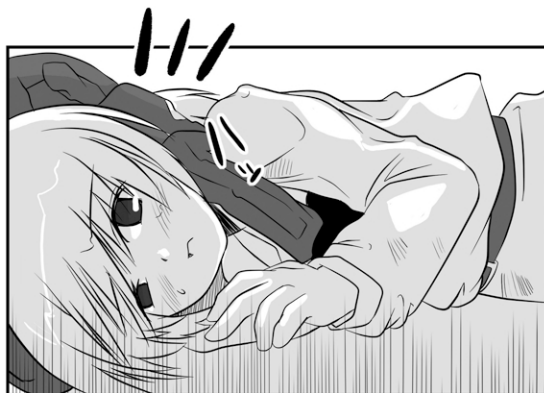
う、
撃たれます



シューッ
シューッ







11

ネ月分から5人とは源文先生の「魂の破片」さ!!



未来人の田口と申します。
博士論文の研究で暗視装置に
ついて調べていまして…丁度
相打ちになったあなた方に
協力頂こうかと思ひまして…

未来人て

なんだそりゃ…ペルリンどこいったんだ？
大体相打ちだつてんならなんでゴイツは
先にお前とくつろいでんだよ…新手的
捕虜尋問か？

彼女の方が先に撃破されたからです

戻りたいなら止めはしませんけど…
主観時間に今はかなりの倍率を
かけてこの空間にきてもらつて
いるんですよ？

軍曹
しそッ

衛生兵
早くッ

研究終わつたら二人とも
記憶を消して元の場所に
送り返してあげますから…

と、いう訳なので一緒に
近代戦必須の暗視装置について
勉強してみましよう！

学習まんがみたいな事を
言い出した…魔女じゃね？

…お前…

ハハッ、東方蛮族は非文明的
過ぎですよ迷信とか…
それよか目薬ありません？
目を復活させるんで